

(様式1)

令和元年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立 押上小学校
校長名	根来 郁明

1 本校の学力に関する状況

(1) 墨田区学習状況調査結果から (平均正答率は、別表参照)

成 果	課 題
【国語】(全国平均正答率との差 5.0p以上) 5年:「読む力」 6年:「関心・意欲・態度」「書く力」「読む力」 【社会】(全国平均正答率との差 5.0p以上) 6年:全領域 【算数】(全国平均正答率との差 5.0p以上) 6年:全領域 【理科】(全国平均正答率との差 5.0p以上) 6年:「関心・意欲・態度」「科学的な思考・表現」 「自然事象についての知識・理解」	【国語】(全国平均正答率との差 5.0p以上) 2年:「言語についての知識・理解・技能」 ⇒ 第1学年配当漢字:「草」 4年:「関心・意欲・態度」「話す力・聞く力」 「書く力」 ⇒ 100から160字の作文 ⇒ 理由や事例を挙げた作文 【算数】(全国平均正答率との差 5.0p以上) 2年:「関心・意欲・態度」「数学的な考え方」 「数量や図形についての技能」 ⇒ 3つの数の計算(1桁+1桁-1桁) ⇒ 図形の色板の枚数を比較 4年:「関心・意欲・態度」「数学的な考え方」 ⇒ 25×28の工夫した計算の仕方 5年:「数量や図形についての技能」 ⇒ 分数の計算(帯分数-真分数) 【理科】(全国平均正答率との差 5.0p以上) 4年:「関心・意欲・態度」「観察・実験の技能」 「自然事象についての知識・理解」 ⇒ 昆虫の体のつくり

(2) 意識調査結果から

成 果	課 題
【全国平均との差】(5.0p以上) 6年:先生の支え(△5.7) 成功体験と自信(△5.9) 規範意識(△6.4) 学級の規範意識(△6.9) 学級の絆(△5.6)	【全国平均との差】(5.0p以上) 2年:友達の支え(▼5.7) いじめのサイン(▼5.3) 3年:問題解決力(▼6.6) 4年:対人ストレス(▼8.7)

(3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
<p>【わかる授業・意欲を引き出す授業の実施】</p> <p>○「週の指導計画」に本時のねらいを明記した。身に付けさせたい指導内容が明確になった。</p> <p>【学習内容の確実な定着（DE層の減少）】</p> <p>○単元末や授業の終末に「振り返りシート」等を活用した。基礎的基本的な学習内容の定着を図ることができた。</p> <p>【教員の資質の向上】</p> <p>○昨年は、国語科の研究「話す力の育成」に取り組んだ。授業では、自分の考えを表現し、友達と意見を交流して考えを深める姿が見られた。</p> <p>○学年会や日々の実践によるOJTにより、若手教員の指導力が向上した。</p>	<p>【わかる授業・意欲を引き出す授業の実施】</p> <p>○作成した「学力向上プラン」を継続的に実践する。「学力向上プラン」を意識した授業を行う。</p> <p>【学習内容の確実な定着（DE層の減少）】</p> <p>○正答率の低い単元は、単元末や授業の終末に「振り返りシート」等を活用する。正答率の低い単元は、時間をかけて重点的に指導する。</p> <p>【教員の資質の向上】</p> <p>○今年度は、国語科の研究「思考力・判断力・表現力の育成」に取り組んでいる。新学習指導要領を意識した授業を行う。</p> <p>○学力向上につながるポイントにOJT研修の内容を特化し、計画的に研修を行う。</p>

2 本年度の学力向上に関する主な取組

(1) 「わかる授業」「意欲を引き出す授業」の実施

- 意図的計画的に「週の指導計画」を作成し、身に付けるべき指導内容を明記する。
 - ・既習事項を活用した学習場面（導入）を設定する。
 - ・本時の学習内容を確認する学習場面（終末）を設定する。

(2) 現学年で身につけるべき学習内容の確実な定着

- 「学力向上プラン」を実施する中で、各教科の課題を改善していく。
 - ・9～10月にふりかえり期間を設定し、前期の学習内容の定着状況を確認する。
 - ・2～3月にふりかえり期間を設定し、年間の学習内容の定着状況得を確認する。
- 学力向上委員会で、「ステップ学習」の指導内容を再検討する。
 - ・「振り返りシート」を冊子（ファイリング）にすることで、確実に実施する。

(3) 校内OJTによる指導力の向上

- 学力向上につながるポイント等、学力向上に特化したOJTを行う。導入、終末での「振り返りシート」の活用方法、学習内容のまとめ方等、具体的な助言が受けられる研修会を行う。
- 自己申告面談の中間申告、最終申告で、学力向上への取組の進捗状況について再確認する。

3 「令和2年度 墨田区学習状況調査」における目標

- 全国平均を上回る。（基礎的・基本的な知識・技能等を定着させる。）
- DE層を30%未満に減少する。（児童の理解度に応じた学習を行う。）